

ご使用前に必ずお読みください ～WLS-L11W～

本製品をご使用いただく前の注意事項および取り扱い方法について説明しています。本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

1 パッケージの内容

パッケージには、次の物が梱包されています。もし、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| ・ AirStation (WLA-L11) | 1 台 | ・ UTPストレートケーブル3m (カテゴリ5) | 1 本 |
| ・ 無線LANカード (WLI-PCM-L11) | 2 枚 | ・ ユーザー登録はがき・保証書..... | 1 枚 |
| ・ ACアダプタ..... | 1 個 | | |
| ・ AIRCONNECTシリーズドライバCD..... | 1 枚 | | |
| ・ ご使用前に必ずお読みください
～WLS-L11W～ (本紙) | 1 枚 | ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。
また、切り離した保証書は、大切に保管してください。
別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。 | |
| ・ 無線LANスタートガイド..... | 1 冊 | | |
| ・ ネットワーク活用ガイド..... | 1 冊 | | |

2 必要な動作環境

本製品の設定には、以下のいずれかの環境が必要です。

OS :

- ・ Windows98/95
- ・ Windows Me
- ・ Windows2000/NT4.0

ブラウザ :

InternetExplorer4.0以降 または NetscapeNavigator4.0以降

3 無線LANに接続する前に

AirStationの設定時に下記の情報が必要です。あらかじめ準備しておいてください。

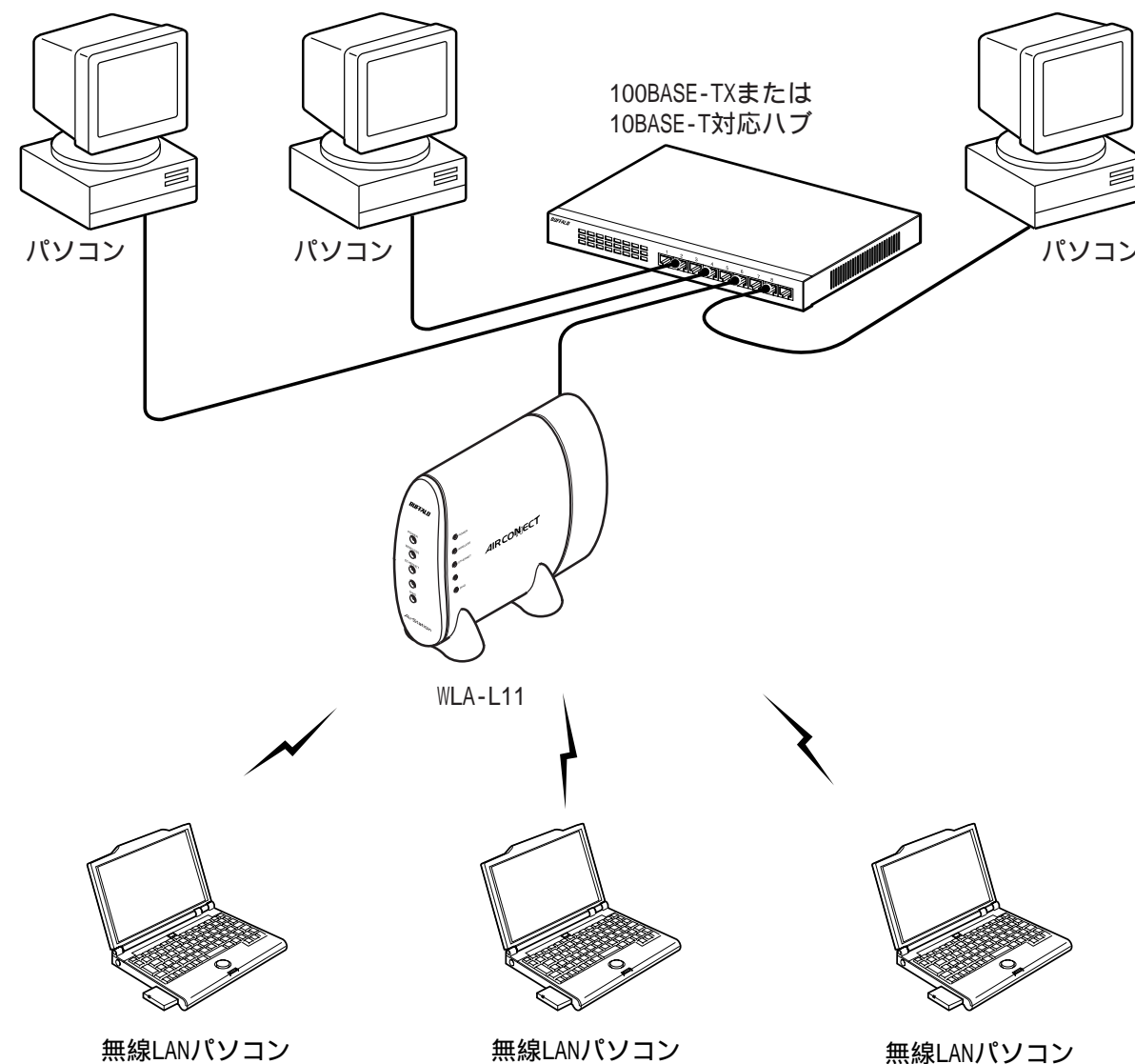
- ・ 有線LANのネットワーク設定 (各パソコンのIPアドレスの設定、DHCPが存在するかどうか)
DHCPサーバについては、「ネットワーク活用ガイド」の「用語集」を参照してください。
- ・ AirStationのMACアドレス (AirStationの設定時に必要です。)
MACアドレスの位置については、裏面の「5 各部の名称とはたらき」を参照してください。

4 ネットワークの構築方法

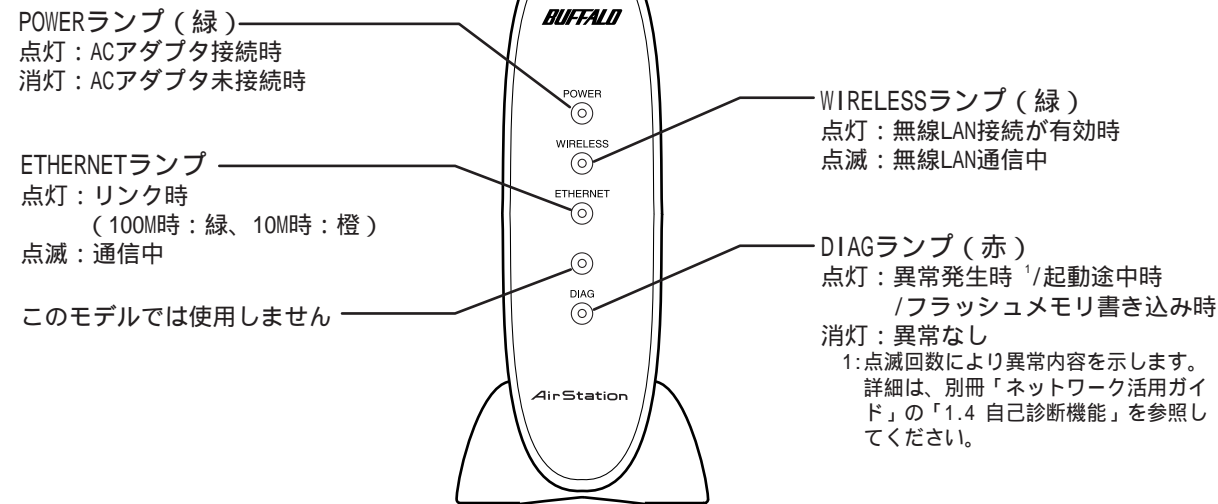
AirStationには、次の使い方があります。

有線LAN-無線LAN間で通信をおこなう

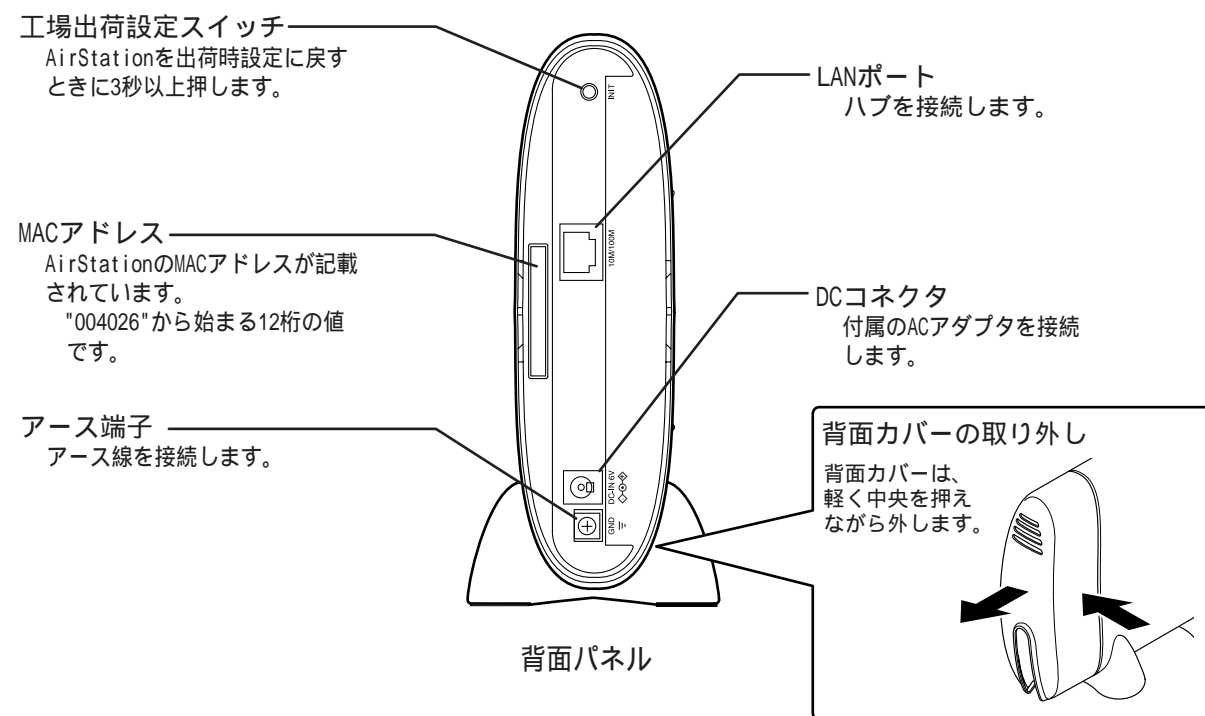
別冊『無線LANスタートガイド』を参照して、取り付け・設定をおこなってください



⑤ 各部の名称とはたらき



前面パネル



電波に関する注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

次の場所では、本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）

弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G）、他社製の無線プリンタバッファなど2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- ・本製品を分解/改造すること
- ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

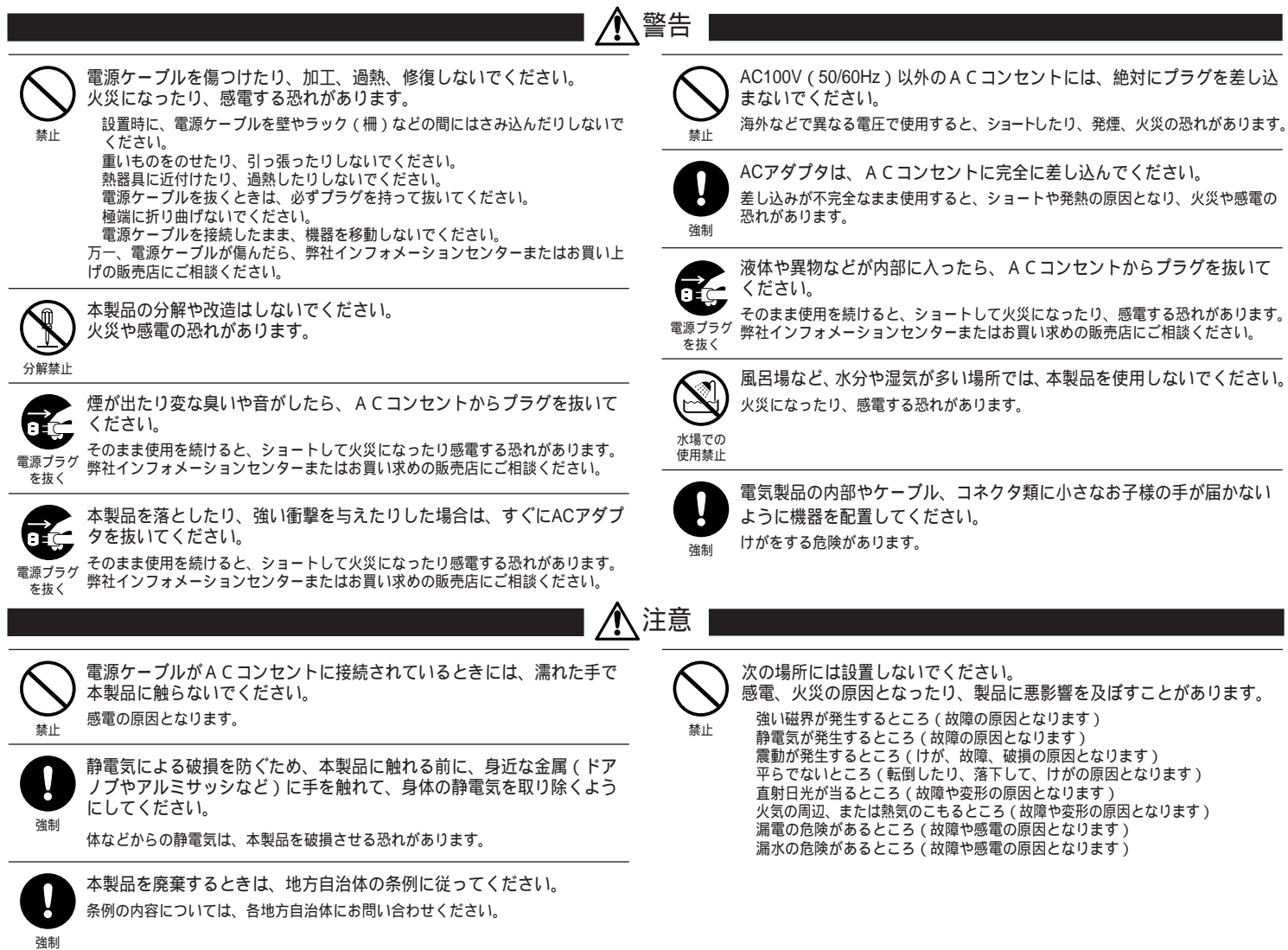
- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
構内無線局（免許を要する無線局） 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

⑥ 安全のために

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。お読みになった後は、必ずお手元に置き、常に参照できるようにしてください。なお、本書には、弊社製品だけでなく弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。また、製品のマニュアルと重複する内容も含まれています。

パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。



本製品の無線チャンネルを出荷時設定以外に設定して使用する場合は、左記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。但し、本製品の周波数が出荷時設定（14チャンネル）の場合は、左記の機器と電波干渉することはありません。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能